

平成30年度 第1回沼田市子ども・子育て会議 会議録（概要）

会議の概要

開催日時	平成30年8月24日（金） 午後1時から午後3時
開催場所	沼田市役所 東原庁舎 2階 会議室
出席者 ◎会長 ○副会長	<p>【委員】 大城委員、小淵委員、○榎淵委員、◎小林委員、田辺委員、中野委員、永井委員、藤巻亜委員、藤巻貞委員、星野委員、森村委員、柳委員、吉田委員</p> <p>【市関係者】 角田健康課長、富田学校教育課長、入澤学校教育係長</p> <p>【事務局】 小池子ども課長、青柳子育て支援係長、見城保育係長、都丸副主査</p>
次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（会長）</p> <p>3 議 事 (1)「沼田市子ども・子育て支援事業計画」について (2)専門委員会の設置について (3)その他</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・沼田市子ども・子育て支援事業計画進捗状況（平成29年度実績） ・沼田市子ども・子育て支援事業計画中間期の見直し ・子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査概要（案） ・沼田市子ども・子育て会議 今後のスケジュールについて（案） ・〈国資料〉第二期市町村子ども・子育て支援事業計画関係 ・前回ニーズ調査票（就学前児童） ・前回ニーズ調査票（小学生） ・平成30年度子ども・子育て会議専門委員会審議事項（案） ・沼田市子ども・子育て会議専門委員会設置運営要綱 ・沼田市子ども・子育て会議専門委員会委員名簿（案） ・ぬまた南保育園民営化スケジュール（案） ・子ども広場移転整備について

議事要旨

発言者	議事の経過及び発言の要旨
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>会長</p> <p>3 議 事</p> <p>(1)「沼田市子ども・子育て支援事業計画」について</p> <p>①計画事業の進捗状況について</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>【資料1「沼田市子ども・子育て支援事業計画進捗状況（平成29年度実績）」により説明。】</p> <p>前段で平成29年度に実施した「中間見直し」について、最終の確定稿を配布しているので、確認をお願いしたい。資料1について、平成30・31年度で計画数値の見直しを行ったものは、斜め書きで数値を表示している。</p> <p>○教育・保育の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1号認定 <p>平成29年度実利用者数265人に対し利用定員計349人と、利用定員に余裕がある状況。平成29年度に沼田恵保育園が認定こども園に移行し、1号認定利用定員を5人設けている。</p> ・2号認定 <p>平成29年度実利用者数734人に対し利用定員計725人と、利用定員に対する入所率が100%を超えている状況。面積基準や保育士の配置基準をクリアしている中で待機児童対策として弾力的運用を実施しているもの。参考数値として、計画数値には含めていないが、企業主導型保育事業の地域枠定員と実利用者数を記載した。</p> ・3号認定 <p>平成29年度実利用者数458人に対し利用定員計436人と、利用定員に対する入所率が100%を超えている状況。企業主導型保育事業の利用もあり、必要枠は確保されている。</p> <p>公立施設の民営化・統廃合の方針が示されている中で、移行期間も含め、質の高い教育・保育が保たれるよう努めていく必要がある。</p> <p>○地域子ども・子育て支援事業の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援事業 <p>子ども課窓口での実施に加え、平成29年度より保健福祉センターで母子保健型を新たに実施したことにより2箇所となった。今後は2箇所の事業の連携強化により、事業の充実を図る必要がある。</p> ・地域子育て支援拠点事業

計画6,500人に対し年間延べ利用児童数が7,682人と、実績が計画を上回っている。今後も3拠点の充実を図りながら、親子の交流の場の推進を図っていく。

・妊婦健康診査

延べ受診回数3,741回と計画を下回っている。出生数の減少による。

・乳児家庭全戸訪問事業

計画306人に対し実績が314人と下回っている状況。出生数の減少の影響である。

・養育支援訪問事業

類似の事業により対応できているため本事業としては実施なしとなっている。

・子育て短期支援事業

相談程度の事案はあったが、実施に到らなかった。

・ファミリー・サポート・センター事業

会員相互の援助活動であり、年間援助回数417回と計画の250回を上回る実績となっている。

・一時預かり事業

幼稚園型について量の見込みよりやや少ない実績となっている。一般型については、量の見込みに対して、かなり少ない実績となっている。希望があっても利用につながりにくい、ということが主な要因である。実施機関と連携しながら、実施しやすい事業となるよう努めていきたい。

・延長保育事業

地域型保育事業として実施していた1か所が減少し、8か所から7か所になったが、計画を上回る実績を確保できている。

・病児・病後児保育事業

病後児型と体調不良児型2事業の実績。量の見込みと実利用数に差があり、利用希望があるが利用に到らない現状である。保護者への

・放課後児童健全育成事業

量の見込みより登録児童数が多くなっている。平成27年度から利用対象3年生までから6年生までに拡大したため、登録児童数が増加している。中間見直しで平成30・31年度の計画数値の上方修正を行った。

会 長 事務局の説明どおりでよろしいか。

委 員 (異議なし)

会 長 **②子ども・子育て支援事業ニーズ調査について**
事務局から説明をお願いします。

事務局	<p>【資料2-1「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査概要(案)」、資料2-2「沼田市子ども・子育て会議 今後のスケジュールについて(案)」資料2-3「〈国資料〉第二期市町村子ども・子育て支援事業計画関係」参考資料1「前回ニーズ調査票(就学前児童)」、参考資料2「前回ニーズ調査票(小学生)」により説明。】</p> <p>平成32年度からの次期計画策定に向け、平成30年度にニーズ調査を実施する必要がある。先日、国の子ども・子育て会議資料として示された情報に基づき、ニーズ調査の作業を進めていきたい。調査対象を前回の平成25年度と同様とするか、調査項目をどのようにするかについて、専門委員会で意見を伺いながらたたき台を作成し子ども・子育て会議で確認し、12月中の調査票配布を目指すものである。</p>
会 長	事務局の説明どおりでよろしいか。
委 員	(異議なし。)
会 長	調査票の詳細については、専門委員会で検討するというご理解いただきたい。
会 長	<p>(2)専門委員会の設置について 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料3-1「平成30年度子ども・子育て会議専門委員会審議事項(案)」、資料3-2「沼田市子ども・子育て会議専門委員会設置運営要綱」、資料3-3「沼田市子ども・子育て会議専門委員会委員名簿(案)」により説明】</p> <p>前回2月22日の子ども・子育て会議において、専門委員会の設置について、お諮りしたところ、委員構成について、企業主導型保育事業者や障害児関係事業者、障害児保護者を入れてはどうかというご意見をいただいた中で、検討した結果を報告したい。運営要綱第2条にいて、「専門委員会の委員は、子ども・子育て会議の委員の中から委嘱する。」としており、委員以外の方に専門委員会委員になっていただくのは難しい。しかし、同条のただし書きで、「会長は外部の有識者に出席を求めることができる。」と規定されているので、専門委員会で取り扱うテーマに応じて、関係者に入っただくことは可能である。今後、計画の策定段階において、必要に応じ協議に入っただくよう、お声かけしていきたいと考えている。</p>
会 長	委員構成については、事務局説明のとおりでよろしいか。審議事項については、会長が専門委員会に諮問することとなっている。資料のとおり、ニーズ調査項目の件、統廃合の件、その他を審議項目とすることによろし

	いか。
委 員	(異議なし。)
会 長	専門委員会委員は、本会議終了後お残りいただきたい。 続いて、専門委員会審議事項2「公立・私立の役割（機能）について」について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	【資料3-4「ぬまた南保育園民営化スケジュール(案)」により説明。】 ぬまた南保育園の民営化について、専門委員会において、民営化に向けて配慮すべき事項をご検討いただきながら、ガイドラインを作っていくたい。ガイドラインとは、公立保育園の民営化に際しての職員配置、保育内容ほかの基本的な基準、スムーズに移行するための準備期間を定め、市民や保護者、事業者等に広く示すことにより、民営化に対する保護者の不安を解消しながら、円滑な移管を行うとともに、公立保育園で積み重ねてきた保育の質を維持・向上することのできる、より良い事業者の参入を促し、安定的・継続的な保育園運営を行うことを目標とするものである。
会 長	今年度中にご意見をいただき、平成31年度中にガイドライン策定、というスケジュールになる。専門委員会で審議した内容については、子ども・子育て会議で報告することになる。十分な時間を取って移行するというところで、ご理解いただきたいが、よろしいか。
委 員	(異議なし。)
会 長	(3) その他「子ども広場の移転整備について」 事務局から説明願いたい。
事務局	【資料4「子ども広場移転整備について」により説明。】 テラス沼田6階の整備工事は、12月末完了予定で進んでいる。遊具・備品の購入も今年度中に予定している。オープンは、庁舎移転と同日の平成31年5月7日を予定している。イベントで実施したアンケートによる意見などを踏まえ、より良い施設となるよう進めていきたい。
会 長	現在の保健福祉センターの機能はどうなるのか。
健康課長	現在は、社会福祉協議会を指定管理者として管理を行っている。移転により空いたスペースの使い方、管理体制のあり方について、現在、関係機関において検討しているところである。

会 長	保健福祉センターが有効に使える形で考えていただきたい。
健康課長	1階の健診ホールは週に3～4日健診があるほか、ほぼ毎日健康課が移動してきて使用する予定である。機能訓練や筋トレも継続して使用することである。健診に合わせた教室やセミナーなど、関係機関と連携して継続的に有効利用できるよう進めていきたい。
会 長	4 その他 事務局から説明願いたい。
事務局	次期スケジュールで説明したが、何度か専門委員会を開催し、概ね11月までに2回目子ども・子育て会議を開催する予定である。 子ども食堂の開設について、NPO法人結いの家、社会福祉法人久仁会、利根保健生活協同組合の3事業者が本市内で実施している。
会 長	子ども食堂は、親子の居場所づくりの方向に変化している印象である。今後の推進を期待する。以上で終了してよろしいか。
委 員	(異議なし。)
	5 閉 会
	閉会后、会長より専門委員会委員が委嘱し、委員の互選により委員長、副委員長を選出、第1回専門委員会会議日程を決定した。 ・委員長 櫛淵洋介 ・副委員長 森村千晶 ・第1回専門委員会 9月27日(水)